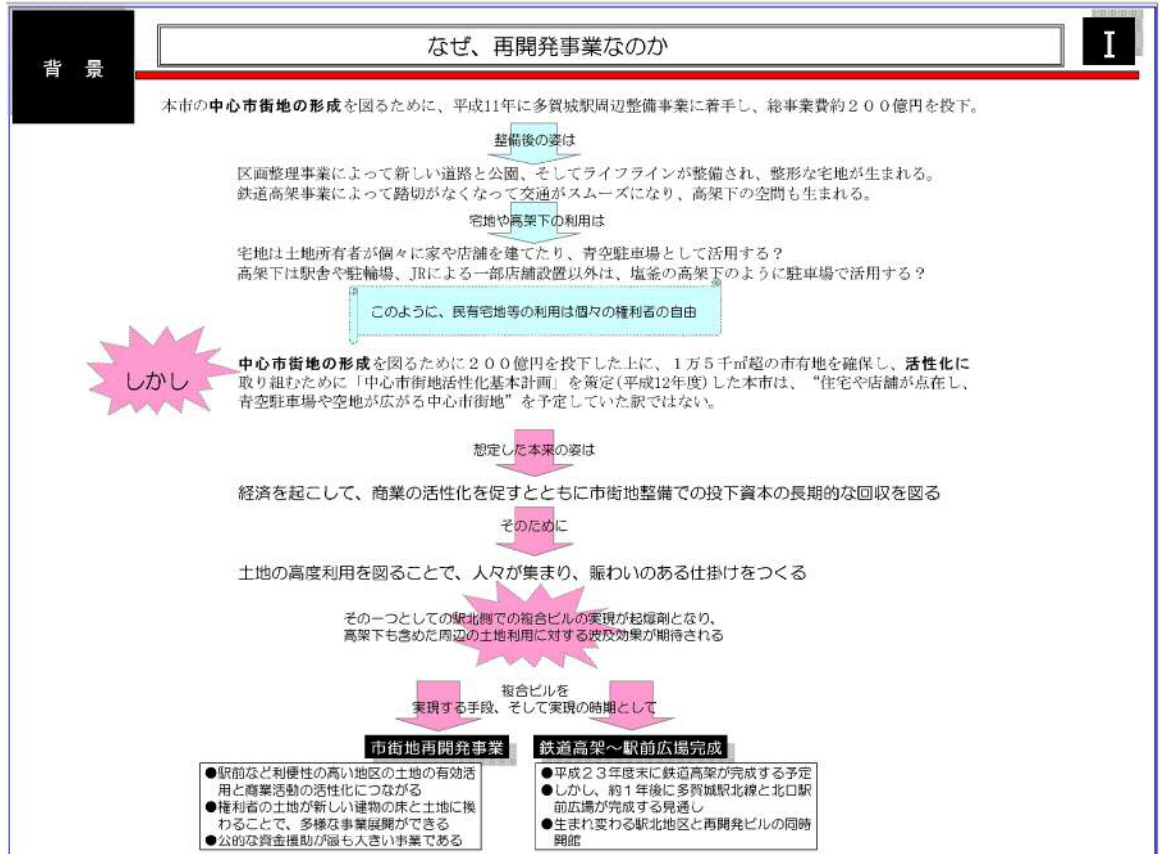


多賀城駅北地区市街地再開発事業の経緯

初期期：平成17年度～平成19年度

- 平成17年度国庫補助事業による調査採択
- 平成19年度国庫補助事業による事業採択
- 平成19年12月12日【議員説明会】時の資料抜粋



変動期：平成20年度～平成23年度

- 平成20年度 9月のリーマンショック等による不動産市況低迷の影響により当初案断念
- 平成21～22年度 修正事業計画の策定

H22.6.17 再開発コーディネーターのRIAが社会福祉法人(本部:気仙沼市)を視察

同法人による大規模特養老、児童福祉施設の立地の意向が示される!

H22.11～ 同法人との交渉を重ね、再開発会社取締役会にて交渉経過を報告

H23. 3. 3 同法人の役員が現地視察



多賀城駅

平成23年3月11日東日本大震災発生

平成23年度 同法人が事業進出断念

同法人の施設(気仙沼市内)大打撃

H23. 4.22 同法人から被害状況報告される

H23. 6.10 施設配置に関する同法人との協議再開
8月までに進出意向確定することで合意

H23. 7.25 同法人が進出意向確認を12月まで延伸したい旨申し入れ

H23.11.29 同法人役員から理事会の決定事項が報告される→進出断念

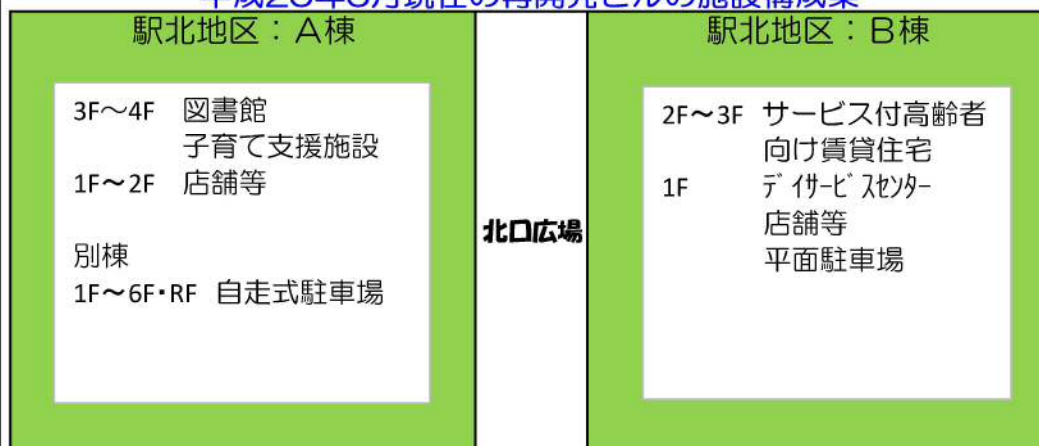
事業期：平成24年度～

- 多賀城駅南北地区に係る入居施設構成に向けた庁内協議
平成24年6月～7月：3回開催
「中心市街地のまちづくりに関するアンケート」(H20.9)調査結果を踏まえ、入居を積極的に推進すべきと評価した施設(下表)

施設名	理由等
マンション	まちなか居住の推進、震災後の住宅需要への対応
駐車場	店舗・P&Rなどの利用者の多様性・公共性が高い
図書館	H12文科省では人口6万人以上で延床3,000㎡以上が望ましい→本館移転?
高齢者介護施設	ニーズ対応
子育て支援施設	既存子サポの代替施設&ニーズ対応
情報発信施設	e x 観光案内所、図書館のサテライト
飲食施設	e x 食堂、軽食、喫茶&ニーズ対応

※自由記述による回答で要望が多かった上位10施設
1位：子育て支援施設、2位：スーパーマーケット、3位：図書館、飲食店、4位：医療施設、5位大型店、6位：喫茶店、7位：郵便局、8位：書店、9位：銀行、10位：観光案内所

平成25年5月現在の再開発ビルの施設構成案

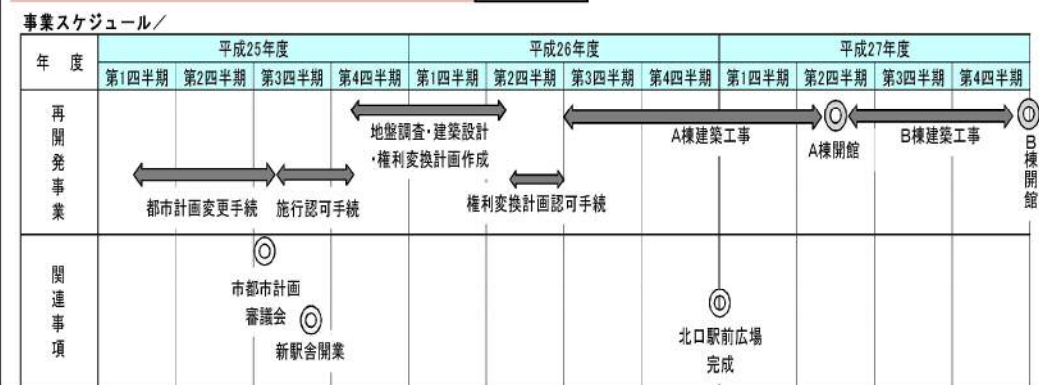


多賀城駅

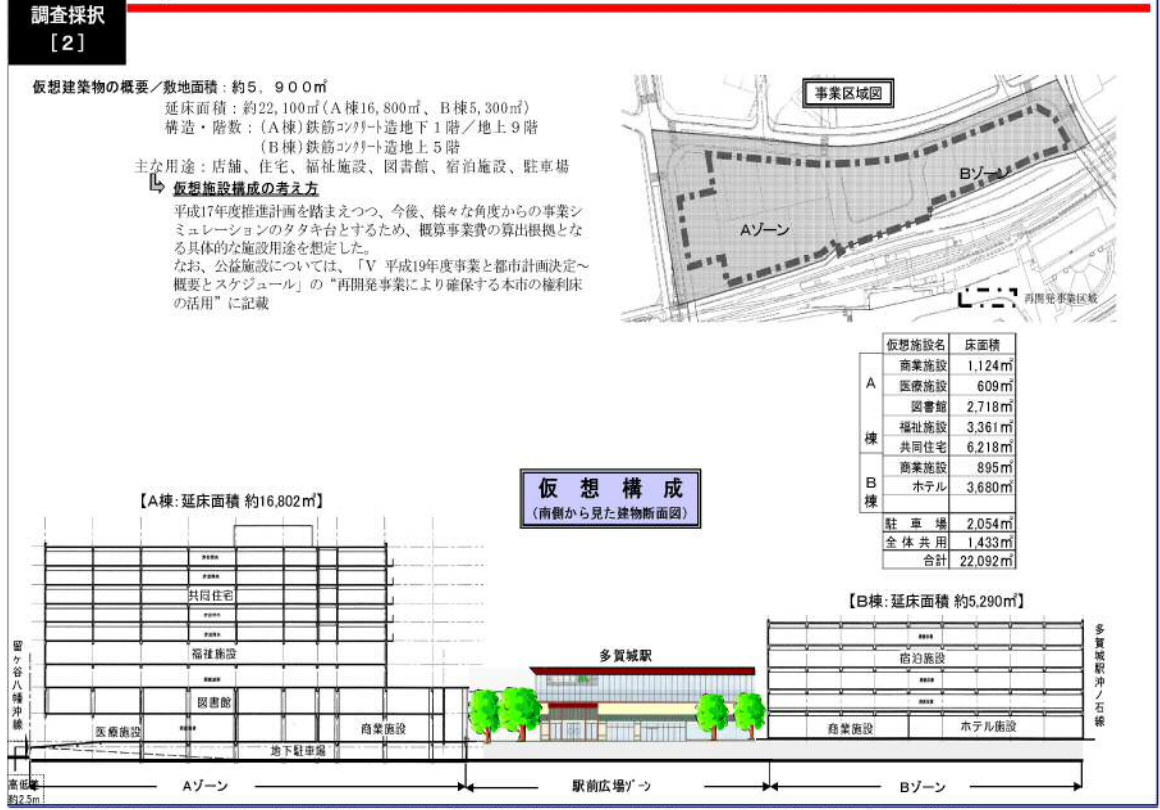
駅南地区：旧長崎屋跡

土地開発公社所有地を含め、店舗、メディカルミックス、分譲マンション、公益施設及び駐車場等による施設構成について検討・協議中

南口広場



市街地再開発調査採択【2】



- 平成20年第1回市議会定例会【再開発会社】への出資提案・議決
- 平成20年3月28日市街地再開発事業の【都市計画決定告示】